

基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の向上

<児童の実態>  
 ○作業的な活動は地道に取り組む。  
 ○できたりわかったりと素直に喜び、次への意欲につながる。  
 ●既習内容の積み重ねが弱く、学力向上につながらない。  
 ●学力の二極化が進んでいる。  
 ●語彙が少なく、文章を読んで理解する力が弱い。  
 ●自分の考えを書いたり話したりして表現することが苦手。

学校教育目標  
 ○かしこく ○やさしく ○たくましく

・学習内容の確実な定着  
 ・主体的に学ぶ意欲の向上  
 ・「書く」「話す」本校の課題  
 ・すべての教科における「語彙力」の向上

<社会の要請>  
 ・生きる力の育成  
 ・学力の確実な定着  
 ・学ぶ楽しさを味わえる授業

<教師の願い>  
 ・わかる喜び、できる楽しさを実感させたい。  
 ・書く話す等、自分の思いを表現させたい。

検証改善サイクル  
 1 重点的取り組みの決定（5月）  
 2 全職員による共通理解（通年）  
 3 保護者・地域住民への広報・説明（通年）  
 4 教科・学年別「学力向上プラン」作成・実施（9月）  
 5 各取り組みの評価・検証（2月）

<改善指標>  
 ・期末テスト 学級平均 85%以上  
 ・埼玉県学力学習状況調査 80%以上  
 ・学力レベル3段階以上の伸び

改善の観点

I 校内研修の計画と実施の工夫

- ・研究主題：「個に応じた指導と協働的な学びの充実を目指した授業づくり」
- ・授業力向上 ・算数で研究授業

II 授業改善

- ・わかる、できる、楽しい授業の工夫（学習内容を確実に身に付けさせる）
- ・協働的な学びに向けての取組 ・ICTの積極的活用（全教科クロームブック）（高学年…家庭学習）

III 教育課程編成上の工夫

- ・各種学力・学習状況調査の分析、活用

授業改善

- ◎教員の指導力・授業力向上
- ・学力向上のための各種取組
- ・校内研修
- ◎ぐんぐんタイム
- ・既習事項の習熟と語彙の増加

家庭・地域

◎家庭・地域の協力

- ・読み聞かせカードへの協力 ・親子清掃 ・環境整備 ・家庭学習（週間）への協力

学習環境

◎校内環境

- ・教室内掲示、児童の作品掲示
- ・言語環境（あいさつ、返事、教師の言葉遣い）
- ◎自尊感情、自己有用感を育てる。

